

平成 19 年度の調査研究活動と報告について

1. 調査方法・とりまとめ方法には、代表的なものとして、下記のように分類できる。

- 現地調査(学外に出て、フィールドでの調査)
- 資料調査(学外に出て、資料を集める調査・・・公立図書館・都市センターなど)
- 聞き取り調査(学外に出て、インタビューやアンケートによる調査)
- アドバイザー教員に相談・質問(学内研究室)
- インターネットを利用した調査・資料収集(学内 PC を利用)
- PC 上での資料等の整理のための作業(学内 PC を利用)
- PC 上で、パワーポイント・ワードでのとりまとめ作業(学内 PC を利用)

2. 第 2 回～第 6 回、第 8 回～第 11 回での調査研究等の作業について

- ・基本的には調査研究活動を自主的に行う。教員は直接には行動を管理しない。
- ・インターネット資料収集やとりまとめのための PC の利用については、木曜日は 4 号館 4 階の PC 室を 8:30～20:30 まで利用できる。(他の平日も授業がなければ利用可)。利用のルール(飲食等禁止)を守ること。学生ホールの PC も月～金曜日は 8:30～21:00 まで利用できる。
- ・**グループの報告義務**： 毎回、グループの報告が義務づけられている。15:30 に 4101 教室に集まり、その日も含めた 1 週間の活動報告を、グループの代表者が、1 分程度で行うこと。**報告は、15:30 までに授業掲示板に記入すること。**

報告内容は以下の通り。

この 1 週間(この日も含めて)の活動の概要。

- どういう方法で、どういった内容を調査して、何が得られたのか報告する。(メインの報告)
- 予定・期待していた内容・情報が(どの程度)得られたのか。(遅れているか、問題ないか)
- 今後の調査の方針について、変更があれば変更の理由も含めて述べる。

来週までの活動予定。

- 特に、学外での調査活動を含む場合には、日付・時間、場所等も具体的に報告すること。

- ・**個人の報告の提出義務**： **翌日(金曜日)の 17:00 までに、授業掲示板に記入すること。**内容は、上記に加え、この 1 週間であなたが実施したり、貢献したりした内容も記すこと。

・学外での調査活動について：

- 木曜日の当日に学外で調査活動を行う場合は、15:30 の集合(口頭の報告)は義務づけない。
- 学外調査は実施前の授業時に、日時・場所・面談相手などを報告すること。
- 学外調査(面談)には、TA か学科教員が付き添う。
- 交通費が各グループ 5000 円程度まで使用できる。(精算は事後)

3. その他

- ・TA が 2 名いる。紹介は初回に行う。主な役割は、テクニカルなサポートと、学外調査の付き添い。
- ・昨年度、この授業を受講した学部 2 年生のアドバイザーが 6 名いる。後日紹介するが、授業時間に教室にはいない。授業時間外の面談、または授業掲示板での質疑応答となる。主な役割は、調査を進めていく上で問題点全般について、昨年度の経験に基づいてのアドバイス。